

陸軍

状況不明者の資料局

本籍地

上等兵

所属部隊 固有名

第一〇師團工兵隊

通稱號

據第一〇八三部隊

昭和三年四月二十九日より開始せるミナト島作戦に参加中輸送勤務に從事せる際迫撃砲破片創にて入院し療養後殆癒退院し本隊追及中昭和三年六月五日比島ミナト島ハコ道三ノ料地点にて迫撃砲集中射撃を受け腹部迫撃砲弾貫通破片創にて一時二分戦死す遺骨不明

據第一〇八三部隊

雄尉

戦歿者確認(證明)書

- 一、死歿者所属部隊名(通稱並) 成兵一〇六六部隊(独歩八〇六)
- 一、徵集年次 昭和二十一年六月
- 一、官階(死後階) 兵曹少佐 (死後後)
- 一、氏名 [Redacted]
- 一、死後場所 [Redacted]
- 一、死亡區分並(死因) 戦死(馬場部員通敵創傷致死)
- 一、死後年月日時間 昭和二十一年六月十六日 午後四時
- 一、死後者本籍地留守持寄者 [Redacted]

右確認(證明)ス

昭和二十一年一月十日

元所属部隊名

成兵一〇六六部隊

現住所

元官階

陸軍少佐

氏名印

註 死(事由)場所ハナラズシテ終戦後ノ死亡ハ明確ニ生死不明ニナラズ者ハソノ前後ヲ

宛先

地方世話部 財神様

戰死證明書

一、戰死者本籍地

[Redacted]

戶主名 姓 氏 名

氏名

[Redacted]

年 月 日生

二、所屬部隊名

比叻近衛第一二四部隊

三、戰死者徵集年

年 徵集年 兵種 兵死前官階 年 月 日

四、戰死年月日時及場所

昭和三年七月二十日 上海 租界 三友 紗廠 附近

五、戰死現認ノ程度

同部隊長 現認

六、遺骨歸還ノ有無

不詳

七、戰死當時ノ狀況ノ概要

上海租界三友紗廠附近、敵機二機、
砲弾、多量落下

八、死亡原因

事由 砲弾 射撃 年 月 日 昭和 年 月 日

九、其他

（上欄に記し得ない事項をここに記す。詳細は別紙を添付する。）

一〇、遺族ノ現住所

[Redacted]

戦死者ノ親類

氏名

[Redacted]

右ノ通り戦死セラレタルニトシテ證明候也

昭和三年 五月 五日

證明者住所

[Redacted]

戦死者ノ關係

同部隊長

所屬部隊名

比叻近衛第一二四部隊

兵種 兵死前官階 陸軍 上等兵

氏名

[Redacted]

市町村長 署名 証明候也

[Redacted]

現認証明書

十四日田中軍兵部
比島派遣軍司令部 隊

陸軍兵長

右者昭和二十年六月十日比島呂宋島スヘハヒスカヤ
[別]ハヨシホシノ地ニ於テ悪性マラリアノ為戦病死ス
右昭和二十年六月十日同地ニ於テ現認セシ事ヲ
証明ス

陸軍兵長

昭和二十年二月一日

死せし鬼認したるか。他人から
聞いたか。その状況は具体的に

不道首・逆留西にのりて知る
所を尋ねて

死せし高野寺又はどこに在任か
に服せしはいつかか

公死と急と自分ほどんを因縁
に思ふたか

志相違ないことを後明する

昭和三十一年五月七日

惣住所

元所偽部隊番号氏名 飛行第六十二隊阿部第一中隊

空軍曹長

本隊進受
伊勢に敗退しつゝのころに知りしは誤りなり

本隊進受

班長と班員

現狀
證明書

所屬部隊名
陸軍兵長

一入隊當時
部隊名

一因赴港灣
出發年月日及場所

一受傷
年月日及場所

一受傷
場所

一受傷
狀況

昭和三十一年六月十七日比島ネノ岩島マシカラス山(在比島大島之北後藤村)

二於千糧林輸送中敵機數機ヲテ後テ之ヲ交戦シテ敵機ヲ撃墜シテ行

依リ頭部貫通砲弾破片創一箇ヲ斃死ス

右現狀

昭和三十一年十二月六日

現狀

第三二野戰重砲隊
砲兵第一連
砲兵第一中隊
砲兵第一小隊

陸軍兵長

死亡事實(現認)證明書

本籍地 [REDACTED]

現住所 本籍 [REDACTED]

所属部隊 或第二六九九部隊

徵集年 昭二八 氏名 [REDACTED] 官等級 陸軍少尉

右ノ者昭和三十年六月十七日 時

分此隊ニ於テタマリヤニ依リ戰傷

病死シタルコトヲ證明(現認)ス

昭和三十一年十二月二十五日

所属部隊 陸軍第三五十六隊隊中隊 職名 兵 官等級 陸軍少尉

氏名 [REDACTED]

注意 一、死亡地點、受傷部位、病名等列明シアルモノハ詳記ス
一、職名ハ中、小隊長、砲手、操縦手等ト詳記ス

125-11

現認(事實)證明書



本籍地 [Redacted]

原属部隊 固有名 [Redacted] (通稱名)

徴集年月日 [Redacted] 役種 現役 兵種 衛生兵

官等級(昭和二十一年一月一日發令) 兵名 [Redacted]

[Redacted] 年 [Redacted] 月 [Redacted] 日生

- 一、死亡年月日時分 昭和二十一年六月十七日 十二時五分
- 二、死亡原因及傷病名 敗血症(敗血)
- 三、死亡場所 ルソン島 [Redacted] 山岳
- 四、死亡状況 山岳に於て戦死す。戦死後、遺體を回収し、山岳に於て埋葬す。
- 五、遺品及遺留品の有無 遺品に遺書(状況)あり。遺書に「戦死す。遺族に慰めを述べ、戦死す。」とあり。
- 六、死亡に関する書類の有無 死亡届、埋葬届、遺書あり。

右の通り相違ない事を証明する

昭和二十一年八月一日 元所属部隊(固有名) [Redacted] (通稱名)

現住所 [Redacted]

直轄官守氏名 [Redacted]

- 一、死亡者本籍地 [Redacted]
- 二、留守遺族者の住所 固有名 [Redacted] 氏名 [Redacted]

右の通り相違ないことを証明する

昭和二十一年 [Redacted] 月 [Redacted] 日 [Redacted]

明皇

天皇

[Redacted]

聖德太子

右大臣

蘇我氏

[Redacted]

天皇

天皇御宇 聖德太子御宇 聖德太子御宇

天皇御宇 聖德太子御宇

天皇御宇

天皇御宇

天皇御宇

天皇御宇 聖德太子御宇

天皇御宇 聖德太子御宇

天皇御宇 聖德太子御宇

天皇御宇 聖德太子御宇

天皇御宇

[Redacted]

天皇

[Redacted]

[Redacted]

天皇御宇 聖德太子御宇

天皇御宇

天皇御宇 聖德太子御宇

天皇御宇

[Redacted]

天皇御宇

天皇御宇 聖德太子御宇

天皇御宇

[Redacted]



戦死証明書

39-10

一、戦死者本籍地

[Redacted]

戸主名義柄 戸主 [Redacted]

氏名

[Redacted]

年

月

日生

二、所属

陸軍 第五四七部隊 [Redacted]

三、戦死者徴集年月

昭和十二年六月一日

四、戦死年月日時刻及場所

昭和十二年六月十七日 小浜川

五、戦死現認ノ程度

戦死と認めらるる

六、遺骨歸還ノ有無

有

七、戦死當時ノ状況ノ概要

戦死當時、状況ノ概要
部隊に再突撃を命じ、体力減退等
偵察報告、休む暇なく奮戦し、戦死す

八、死亡区分

戦死 事由 [Redacted] 昭和十二年六月一日

九、其ノ他

陸軍省に於て登記し、整理確定カ、又不明等記入 (申立書ナレバ随年月日及上掲地)

一〇、遺族ノ現住所

[Redacted]

戦死者トノ親類 母

氏名

[Redacted]

右ノ通り戦死セラレタルニトシテ証明候也

昭和十二年 五月 二日

証明者住所

[Redacted]

戦死者トノ関係

母子

所属部隊名

第五四七部隊 陸軍部

兵種 歩兵 官等 陸軍 伍長

氏名

[Redacted]

印

市町村長證明箇所

右ノ通り戦死者トシテ証明候也
見届者 [Redacted]

昭和十二年五月六日

[Redacted]

南 方 第 一 陸 隊 第 一 二 十 二 隊 病 隊

昭和二十二年

三月二十六日

衛生曹長 同部隊上官 (本人は見届けを以て戦友) 係長より本人に
不明

長兵衛 長兵衛

[Redacted Name]

同上

昭 20 6 17

北 部 新 20 6 17 夜

出 撃

散 兵 年 自 役	任 官 年 令	共 役 種 別	死 亡 日 月 年 生	本 籍 地	部 隊 番 号	死 亡 日 月 年 時	死 亡 状 况	遺 体 運 送 品 目

第九九三八部隊

徵集信
後檢査
18

現

年
日
生

父

死考略

昭和十九年九月九日
昭和十九年十月十一日
昭和十九年十月十一日

昭和十九年九月九日
昭和十九年十月十一日
昭和十九年十月十一日

昭和十九年九月九日
昭和十九年十月十一日
昭和十九年十月十一日

昭和十九年九月九日
昭和十九年十月十一日
昭和十九年十月十一日

死 七 認 定

昭和十九年九月九日

昭和十九年六月十八日

昭和十九年九月九日

昭和十九年九月九日

昭和十九年九月九日

昭和十九年六月十八日

昭和十九年九月九日

昭和十九年九月九日

死に就く（本人は）

六月十五日 米軍 五二丁 飛行場 占領

六月十七日 鹿 千定 待避地 四十八丁 占領

六月十八日 朝 島隊 本隊 四十八丁 占領

同日 刻 同敵艦 一家 鹿 千定 待避地 四十八丁 占領

死亡認定ノ理由

自由認 死体生葬 確度内

備考

判明セル所 成ルベク 詳シク 記載セラル度

死亡認定ノ理由ニハ 其 確度（例ハ）昭和十九年十月二日甲）ヲ示サレ度

甲 確實ナルモノ 記憶ウシキモノ 西 他人ヨリキカモノ

所屬部隊

第一五〇飛行場大隊

現住所

官等兵印

見習士官

ヨリ聞ク

現認(死亡)証明書

昭和 年 月 日

地方世話部

所属部隊 固有姓名 船橋 三上 連隊 通稱 船橋 三上 連隊

年集 現 役 後 死 前 後 死 氏 名 生 年 月 日

死亡年月日時 昭和 20 年 6 月 19 日 午後 時 分 死亡場所 ルソン島

死亡區分 戦死 傷病名 推士官以上 任官年月日

遺留品の有無

死亡時 昭和 20 年 6 月 19 日 午後 時 分 死亡場所 ルソン島

右證明候也

昭和 年 月 日

所屬部隊 船橋 三上 連隊 現任 官等 姓名 官等 姓名 官等 姓名

地方世話部長

殿

48-10

現認(死亡)証明書

昭和 年 月 日

地方世話部長

所屬部隊 固有名称 船船工兵第三工車隊 通稱號

一九七七四

職 役 種 類 兵 種 船 船 官 階 等 前 亡 死 後 亡 死

氏 名 生 年 月 日

死亡年月日時 昭和 年 月 日 午後 時 分

死亡場所

ルソン島

死亡區分

戰死

傷病名

發(受)病(傷)年月日 昭和 年 月 日

准士官以上
任官年月日

死亡時

昭和三年六月十八日午後八時
ルソン島

遺留品の有無

右證明候也

昭和 年 月 日

所屬部隊 船船工兵第三工車隊

現任所

官等職氏名印

地方世話部長

殿

44-10

現認(死亡)証明書

昭和 年 月 日
地方世話部

証 明 者	死 亡 者	死 亡 時 況	死 亡 區 分	死 亡 年 月 日 時 分	年 集 役	所 屬 部 隊	固 有 名	通 稱 號
						細 兵	細 官	前 亡 死
地方世話部長	戦死	昭和三十二年五月一日終戦五英第三十四聯隊の捕虜となり同年五月七日ルソン島ボソボソに於て新し戦死	戦死	昭和二十年六月十八日午後	細兵	終戦五英第三十四聯隊		
昭和 年 月 日	昭和三十二年 月 日							
右 証 明 候 也	遺 留 品	遺 骨	傷 病 名	死 亡 場 所	任 官 年 月 日			
	の有無	の有無		ルソン島ボソボソ	准士官以上			
地方世話部長	官等級氏名印							

45-10

現認(死亡)証明書

昭和 年 月 日

地方世話部

所 属 部 隊 固有 名

船橋之兵三十三連隊

通稱 號

睦一九七七四

年 集 徴

額 役

頭 級

種 兵

船橋

級 等 官

前 亡 死

一 等

後 亡 死

名 氏

生 年 月 日

死 亡 年 月 日 時

昭和 20 年 6 月 18 日 午 後 前

時 分

死 亡 場 所

ルソン島 ホソノ

死 亡 區 分

戦 死

傷 病 名

發(受)病(傷)年月日

昭和 年 月 日

准士官以上
任官年月日

者 死 亡 時

昭和三十一年六月十八日
ルソン島ホソノ

遺 骨
遺 留 品
の 有 無

右 記 證 明 候 也

昭和 年 月 日

所 属 部 隊
現 任 所

船橋之兵三十三連隊

地方世話部長

殿

官 等 級 氏 名 印

陸軍少佐

現認(死亡)証明書

昭和 年 月 日

地方世話部

所 属 部 隊 固有 名 船舶工兵第三五聯隊 通稱 號 曉第三六七四部隊

年 集 團 種 役 種 兵 級 等 官 前 亡 死 後 亡 死 名 氏 生 年 月 日 日 生

死 亡 年 月 日 時 分 昭和 20 年 6 月 18 日 午 前 時 分 死 亡 場 所 ルソン島ボソ

死 亡 區 分 戦 死 傷 病 名

殺(受)病(傷)年月日 昭和 年 月 日 准士官以上 任官年月日

死 亡 時 刻 昭和 20 年 6 月 18 日 11 時 30 分 遺 留 品 骨 有 無 無

右 証 明 候 也

昭和 23 年 5 月 12 日

所 属 部 隊 現 任 所 官 等 級 氏 名 印 船舶工兵第三五聯隊 佐野兵衛

地方世話部長

殿

現認(死亡)証明書

昭和 年 月 日

地方世話部

所屬部隊 固有名 昭船工兵第3連隊

通稱 昭一九二七四

現役 兵 船 級等官 前死亡 工兵 後死亡 氏名 生年月日 年 月 日生

死亡年月日時 昭和二十年六月八日 午後 時 分 死亡場所 儿ノ島ボソ

死亡區分 戦死 病名 准士官以上 任官年月日

受(病傷)年月日 昭和 年 月 日

死亡時 昭和三十年三月十八日 儿ノ島ボソ
 状況 昭和三十年三月十八日 儿ノ島ボソ
 遺留品 遺骨 の有無

右證明候也

昭和 年 月 日

所屬部隊 昭船工兵第3連隊
 現住所 陸軍兵長

地方世話部長

殿

58-10

現認(死亡)証明書

不養地
留根者

父

昭和 年 月 日

通事世話部

所屬部隊 固有者 船舶工兵三連隊

通稱 曉死三四

現役 兵 船組 官 前死亡 兵 後死亡 名 生年月日

死亡年月日時 昭和 年 月 日 午 時 死亡場所 ルン島ホソ

死亡原因 戦死 傷病名

發(死)病(傷)年月日 昭和 年 月 日 任職年月日

死亡時刻 昭和 年 月 日 死亡の状況 昭和 年 月 日 死亡の状況

右證明候也

昭和 年 月 日

所屬部隊 船舶工兵三連隊
現任 陸軍兵長

地方世話部長

殿

59-10

外軍事官... 昭和十七年七月

姓名 [redacted] 氏名 [redacted] 職名 [redacted]

昭和十七年七月... 五月中... 昭和十七年七月

参考資料(不要) [redacted] 昭和十七年七月

昭和十七年七月... 昭和十七年七月

昭和十七年七月... 昭和十七年七月

昭和十七年七月... 昭和十七年七月

昭和十七年七月... 昭和十七年七月

6-12

陸軍省
 陸軍部
 兵務局
 兵隊部
 兵隊部
 兵隊部

右現認明致します 昭和22年6月30日		死者の 遺骨遺留品 の有無		死亡年月日時 昭和20年6月18日10時分		死亡區分 戦死		留守宅住所 [Redacted]		死亡場所 [Redacted]		死亡事由 大砲夫		籍貫氏名 [Redacted]		役職 兵		本籍地 [Redacted]		所属部隊 [Redacted]	
現認 本籍 現任所 所属部隊 官等氏名		遺骨遺留品 の有無		死亡年月日時 昭和20年6月18日10時分		死亡區分 戦死		留守宅住所 [Redacted]		死亡場所 [Redacted]		死亡事由 大砲夫		籍貫氏名 [Redacted]		役職 兵		本籍地 [Redacted]		所属部隊 [Redacted]	

本隊より戦死した大砲夫...
 戦死した大砲夫...
 戦死した大砲夫...

現認證明書

地方世話部

所属部隊 比島派遣隊 一〇六九三

本籍地

役職

歩兵

隊長

死亡階級

死亡階級

氏名

死亡者

死亡年月日時

昭和二十年六月十八日午後

死亡場所

比島モリタルン地区

死亡事由

比島モリタルン地区の戦闘中

留守宅住所氏名

比島モリタルン地区の留守宅住所氏名

級別

中尉

死亡時の状況

比島モリタルン地区の戦闘中、敵機襲撃を受け、遂に戦死した。遺体は発見されず、行方不明である。

目一竹街

右現認證明致します

昭和二十年四月十九日

現認者

官等氏名	所属部隊	現住所	本籍
陸軍兵長	比島派遣隊	[Redacted]	[Redacted]

大川